

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号 600-8652

「地域密着型金融の取組み」について ～平成 28 年度の取組みと金融仲介機能のベンチマークの状況～

京都銀行（頭取 土井 伸宏）は、今般、平成 28 年度の「地域密着型金融の取組み状況」を取りまとめましたのでお知らせいたします。

当行は、地域密着型金融の基本方針に「積極的なコンサルティング機能の発揮により、中小企業者の経営安定・成長発展を支援し、地域経済の活性化に貢献する」ことを定め、地域密着型金融の推進に努めてまいりました。

第 6 次中期経営計画「Timely & Speedy」（平成 29 年度～31 年度）においては、ありがたい姿に「お客さまの期待に応える京都銀行」を掲げ、より一層お客さまの相談に乗り、解決できる銀行を目指しております。

当行では、今後も中小企業等への金融の円滑化を通じ、地域経済の活性化に貢献することが地域密着型金融の本来のあり方と認識し、引き続き地域の発展と成長に貢献できるよう努めてまいります。

記

「地域密着型金融の取組み状況（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）」の内容

1. 地域密着型金融の取組み方針
 - （1）地域密着型金融の基本方針
 - （2）取組み態勢
 - （3）「金融仲介機能のベンチマーク」の活用
2. 金融仲介機能のベンチマーク（平成 28 年度実績）
3. 平成 28 年度の主な取組み
 - （1）顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮
 - （2）地域の面的再生への積極的な参画
 - （3）取組み態勢の整備

※本日から当行ホームページに掲出いたします。

以 上

地域密着型金融の取組み状況

(平成28年4月～平成29年3月)

～平成28年度の取組みと金融仲介機能のベンチマークの状況～



平成29年8月

I. 地域密着型金融の取組み方針	
1. 地域密着型金融の基本方針	P2
2. 取組み態勢	P2
3. 「金融仲介機能のベンチマーク」の活用	P3
II. 金融仲介機能のベンチマーク(平成28年度実績)	P4
III. 平成28年度の主な取組み	
1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮	P7
2. 地域の面的再生への積極的な参画	P14
3. 取組み態勢の整備	P17

1. 地域密着型金融の基本方針

「積極的なコンサルティング機能の発揮により、中小企業者の経営安定・成長発展を支援し、地域経済の活性化に貢献する」

2. 取組み態勢

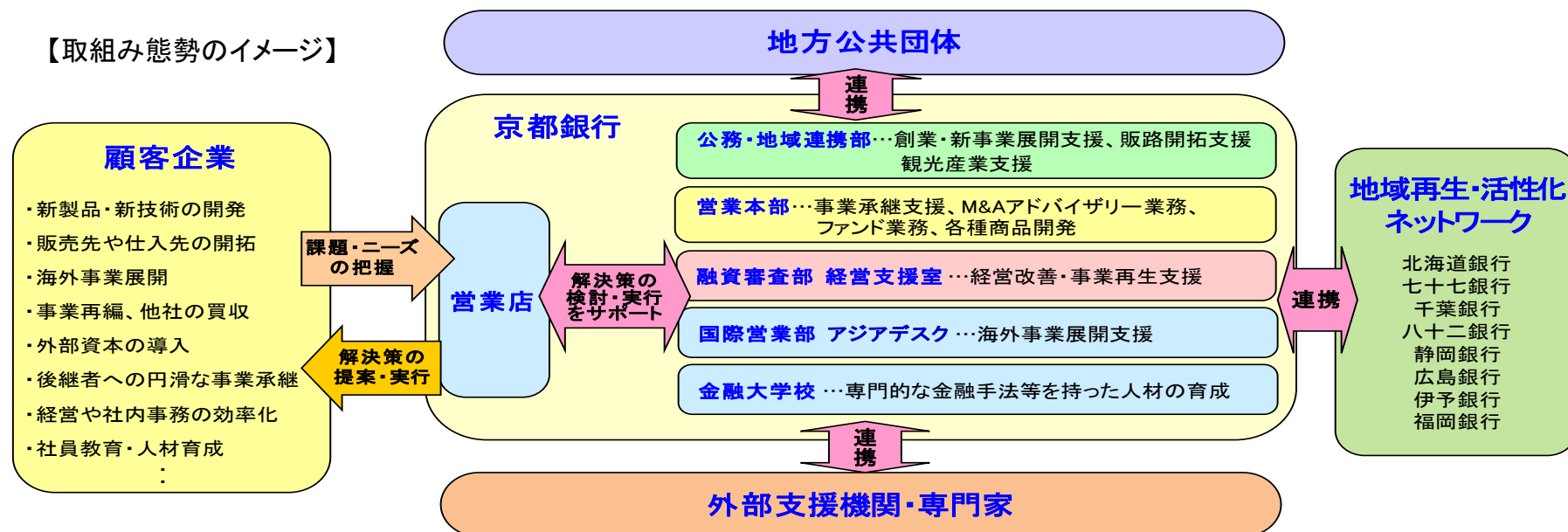
当行では、お取引先の様々な経営課題やニーズに対して、地方公共団体と外部支援機関が連携して積極的なコンサルティング機能を発揮できる態勢を整えております。また以下の3点を地域密着型金融の取組みの3つの柱として、地域の中小企業等への経営課題のサポートや地域経済の活性化につながる取組みを実施しております。

(1) 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮（詳細はP.7～P.13に記載）

(2) 地域の面的再生への積極的な参画（詳細はP.14～P.16に記載）

(3) 取組み態勢の整備【人材の育成・業績評価・積極的な情報発信】（詳細はP.17に記載）

【取組み態勢のイメージ】



3. 「金融仲介機能のベンチマーク」の活用

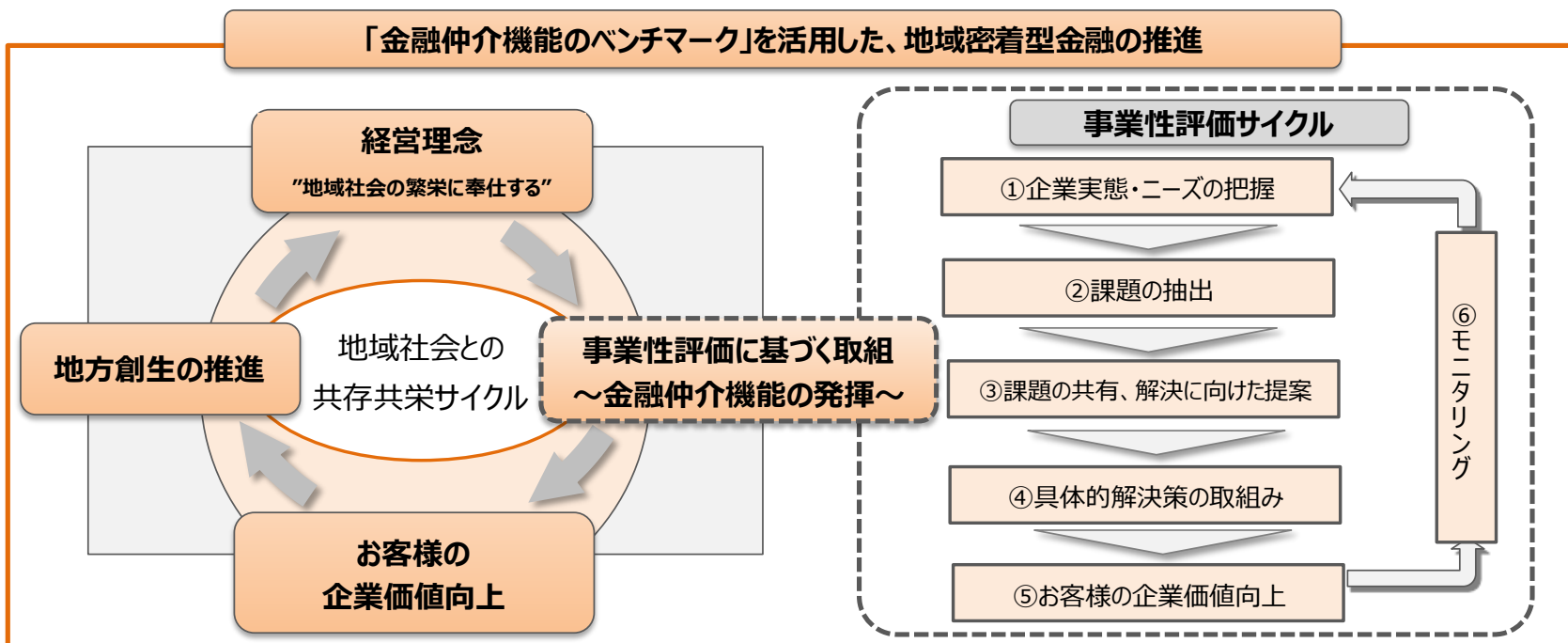
平成28年9月、金融庁は、金融機関の金融仲介機能を客観的に評価するための指標として、「金融仲介機能のベンチマーク」を公表しました。当行においても、ベンチマークを活用し、地域密着型金融の推進に努めてまいります。

「金融仲介機能のベンチマーク」とは...

平成28年9月に金融庁が策定・公表した指標で、各金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価するものです。
以降のページでは、関連する指標・項目に右記に示したベンチマークの種類を記載しております。

【ベンチマークの種類】

共通 ベンチマーク	全ての金融機関が金融仲介機能の取組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するための指標
選択 ベンチマーク	各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる指標
独自 ベンチマーク	各金融機関が金融仲介の取組みを自己評価するうえでより相応しい指標がある場合、独自に設定できる指標



Ⅱ. 金融仲介機能のベンチマーク(平成28年度実績)

■ 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

■ 地域の面的再生への積極的な参画

顧客企業のライフステージや課題・ニーズに応じた最適なソリューションを提供

【共通4】ライフステージ別の与信先数(先数単体ベース)、融資残高 ※平成29年3月末基準



■創業期の企業への円滑な資金供給に加え、事業計画策定支援等を行っています。

詳細はP7、P8を参照

創業支援先数【共通3】

平成28年度実績 905先

創業支援の内訳【選択16】

創業計画策定支援	28件
融資支援	879件
支援機関の紹介	15件
ベンチャー企業への投資等	7件
創業支援件数合計	929件

■成長期・安定期の取引先企業の更なる成長力強化に向けて販路開拓支援やM&A支援等を行っています。

広域店舗ネットワークを活用したビジネスマッチング【選択18】
⇒詳細はP9、P10を参照

平成28年度実績 943件

M&A支援数【選択19】
⇒詳細はP13を参照

平成28年度実績 17先

ファンドを活用した支援【選択20】
⇒詳細はP8、P15参照

平成28年度実績 7件

事業承継支援数【選択21】
⇒詳細はP13を参照

平成28年度実績 247先

■低迷期・再生期の取引先企業の経営改善や抜本的な事業再生支援を行っています。

当行が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況【共通2】
⇒詳細はP12を参照

平成29年3月末基準

条件変更先総数	好調先	順調先	不調先
4,109先※	9先	118先	1,056先

※うち経営改善計画のない先2,926先。

取引先の企業価値向上

【選択12】本業(企業価値の向上)支援先数及び全取引先数に占める割合(平成28年度実績)

全取引先数①	本業支援先数②	②／①
30,981先	1,564先	5.0%

【選択13】本業支援先のうち、経営改善がみられた先数(平成28年度実績)

1,022先

【選択】...選択ベンチマーク

【共通】...共通ベンチマーク

【独自】...独自ベンチマーク

■ 取組体制の整備(お客様との有効な面談機会の確保により、事業性評価の取組みを充実させます)

取引先の本業支援に関する研修等(行員の目利き能力の向上)

【選択34】【選択35】中小企業向け融資や本業支援を主に担当している従業員数、及び、全従業員数に占める割合(平成29年3月末基準)

支店	全支店 従業員数①	本業支援担当 支店従業員数②	②／①
	3,171人	885人	27.9%

本部	全本部 従業員数①	本業支援担当 本部従業員数②	②／①
	838人	89人	10.6%

【選択39】取引先の本業支援に関連する研修等の実施数、研修等への参加者数、資格取得者数(平成28年度実績)

⇒詳細はP17を参照

研修実施回数	参加者数	資格取得者数
104回	2,576人	29人

■専門的な行内研修等を通じて、行員の目利き能力の向上と更なるコンサルティング機能の発揮に努めております。

【選択4】取引先への平均接触頻度、面談時間(平成28年度実績)

取引先への月単位の平均接触頻度	1.4回
営業担当者の1日当り平均面談時間	4.1時間

【選択】...選択ベンチマーク

【共通】...共通ベンチマーク

【独自】...独自ベンチマーク

■お客様との平均面談時間の増加を目指し、取引先のニーズに即時、的確に対応できるよう努めております。

事業性評価の取組み

【共通5】事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資額、及び、全与信先数及び融資額に占める割合(平成29年3月末基準)

※先数単体ベース	先数	融資残高
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高	1,738先	3,193億円
上記計数の全与信先数及び当該与信先の融資残高に占める割合	4.8%	10.7%

【独自1】地方創生・事業性評価 頭取賞 報告件数・受賞件数(平成28年度実績)

⇒詳細はP17を参照

報告件数	受賞件数
693件	25件

【選択11】経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び、全与信先に占める割合(平成29年3月末基準)

全与信先数①	ガイドライン活用先数②	②／①
36,166先	3,800先	10.5%

Ⅱ. 金融仲介機能のベンチマーク(平成28年度実績)

■ 地域密着型金融の取組み(3本の柱を積極的に取り組む事で、金融仲介機能の質の向上を図り、取引基盤の拡大を目指します)

顧客企業に対する
コンサルティング機能の発揮

地域の面的再生への
積極的な参画

取組態勢の整備

金融仲介機能の質の向上

取引基盤の拡大

【選択1】全取引先数と地域の取引先数、及び、地域の企業数との比較(先数単体ベース)

	29/3末	
	地元	地元外
全取引先数	36,166先	
地域別の取引先数	35,585先	581先
地域別の企業数	878,803先	989,379先

【選択】...選択ベンチマーク

【共通】...共通ベンチマーク

【独自】...独自ベンチマーク

※地元は京都、大阪、滋賀、奈良、兵庫の支店の取引先とする。地元外(都市部)は東京営業部、名古屋支店、刈谷支店とする。

【選択2】メイン取引(融資残高1位)先数、及び、全取引先数に占める割合(先数単体ベース)

	29/3末
メイン取引(融資残高1位)先数	17,434先
全取引先数に占める割合	48.2%

【共通1】メイン取引先のうち、経営指標の改善や就業者数の増加が見られた先数、融資額の推移

メイン先数 ※グループベース	14,929先	経営指標等が改善した先に 係る3年間の事業年度末の 融資残高の推移	29/3末	28/3末	27/3末
メイン先の融資残高	9,696億円		7,971億円	7,949億円	7,422億円
経営指標等が改善した先数	10,188先				

※上記先数・融資残高は平成29年3月末基準

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(1). 創業・新事業支援

共通
ベンチマーク【3】

選択
ベンチマーク【16】

選択
ベンチマーク【20】

ア. 京銀活き活きベンチャー支援ネットワークの活用

創業企業やベンチャー企業、新たな事業分野への進出を検討されている中小企業の課題・ニーズに対し、「京銀活き活きベンチャー支援ネットワーク」に参画いただいている支援機関や大学等と連携してビジネスマッチングや各種情報の提供、専門家（機関）や大学の紹介等のご支援を行いました。

「京銀・KIISビジネスフォーラム」を開催

平成28年12月に、ベンチャー企業と大手企業・大学・支援機関等とのマッチングを目的として開催。

近年話題の「AI(人工知能)」をテーマとした基調講演やベンチャー企業4社によるプレゼンテーション等を通じて、情報交換・交流を行っていただきました。



【京銀活き活きベンチャー支援ネットワークの概要】



平成28年度
929件の創業支援を実施

～事業計画策定、補助金申請支援、資金調達等～

平成28年度
263件の「ものづくり・商業・サービス
新展開支援補助金」申請を
サポート

共通ベンチマーク【3】

創業支援先数

905先

選択ベンチマーク【16】

創業支援件数合計

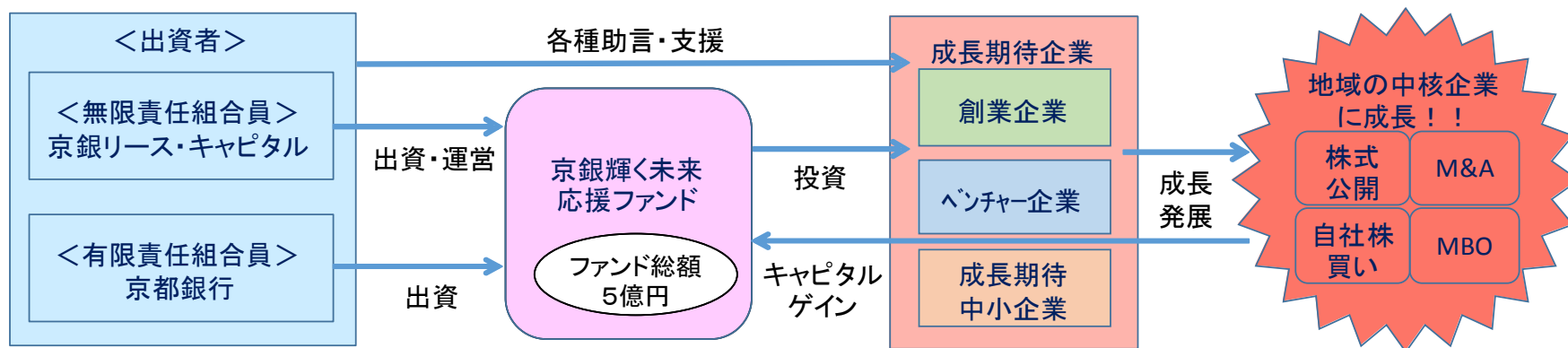
929件

イ. 京銀輝く未来応援ファンドによる投資

地元の成長期待企業の支援育成を目的として、平成28年2月に、当行グループ企業である京銀リース・キャピタルとの共同出資により、「京銀輝く未来応援ファンド」を設立しております。

平成28年度は、再生医療関連や人工知能、フィンテック、次世代蓄電池、微細加工レーザーといった技術系のベンチャー企業5社に投資を行っております。

【京銀輝く未来応援ファンドの概要】



【平成28年度の投資先】

選択ベンチマーク【20】

ファンド活用件数

7件※「きょうと農林漁業成長支援ファンド」投資先2件含む

会社名	株式会社AFIテクノロジー	
所在地	京都市左京区	
設立	平成25年5月	
事業内容	細胞、微生物等の評価・制御・製造に関わる デバイス・装置・試薬等の開発・製造・販売	

会社名	株式会社ハカルス	
所在地	京都市中京区	
設立	平成26年1月	
事業内容	人工知能を活用した食事指導・健康管理 サービスならびに専用アプリの開発	

会社名	株式会社お金のデザイン	
所在地	東京都港区	
設立	平成25年8月	
事業内容	「ロボアドバイザー」による資産一任運用 サービス「THEO(テオ)」を提供	

会社名	CONNEXX SYSTEMS 株式会社	
所在地	京都府相楽郡精華町	
設立	平成23年8月	
事業内容	次世代型蓄電システムの開発・製造・販売 システム・インテグレーション	

会社名	スペクトロニクス株式会社	
所在地	大阪府茨木市	
設立	平成16年4月	
事業内容	産業用微細加工レーザー発振器の開発・ 製造・販売	

(2). 成長支援(販路開拓支援等)

選択
ベンチマーク【18】

ア. 幅広いネットワークを活用した商談機会の提供、商談力向上の支援

当行では、幅広い顧客ネットワークや外部機関との支援ネットワークを活用して、お取引先の販路開拓支援に積極的に取り組んでおります。平成28年度は、個別のビジネスマッチング、各種商談会の開催により、**3,905件**の商談機会を設定させていただきました。また、「商談力向上セミナー」も開催し、商談スキル向上のご支援にも取り組みました。

京銀ビジネス商談会

地方銀行フードセレクト

ビジネスマッチング

平成28年度
商談件数
3,905件

その他商談会・展示会

幅広い顧客ネットワーク

全 30,680先※

卸売業 2,937先	小売業 3,120先	製造業 5,669先	不動産業 5,637先	医療福祉 2,476先
生活関連 734先	飲食業 1,284先	農林漁業 163先	学術研究 1,539先	情報通信 342先
教育関連 197先	宿泊業 182先	運輸郵便 685先	建設業 4,001先	

※個人・地公体等を除いた平成29年3月末時点取引先数

外部機関との支援ネットワーク

中小企業基盤整備機構近畿本部
関西文化学術研究都市推進機構(けいはんな)
京都府 京都産業21 京都高度技術研究所 京都商工会議所
大阪府 大阪産業振興機構 大阪産業創造館 大阪商工会議所
奈良県 奈良県中小企業支援センター 奈良商工会議所
兵庫県 ひょうご産業活性化プラザ
滋賀県 滋賀県産業支援プラザ

「商談力向上セミナー」を開催

平成28年7月と9月に、バイヤーとの豊富なネットワークをもつ専門家を講師に招き、商談会で成約に繋がるポイントについての講演や模擬商談会を行いました。



「関西の逸品！首都圏バイヤー商談会in東京2016」を開催

平成28年10月、首都圏に販路をもつバイヤー企業13社と、当行お取引様47社との商談会(84商談)を大和証券様との共催で東京にて開催致しました。



「地方銀行フードセレクト2016」に参加

平成28年11月、全国の地方銀行41行が合同で東京ビックサイトで開催。当行お取引先27社が出展し、数多くの商談を行っていただきました。



イ. 広域店舗ネットワークを活かしたビジネスマッチングの取組み

「広域型地方銀行」として、当行が懸け橋となり、地域間のビジネスマッチングにも積極的に取り組んでおります。

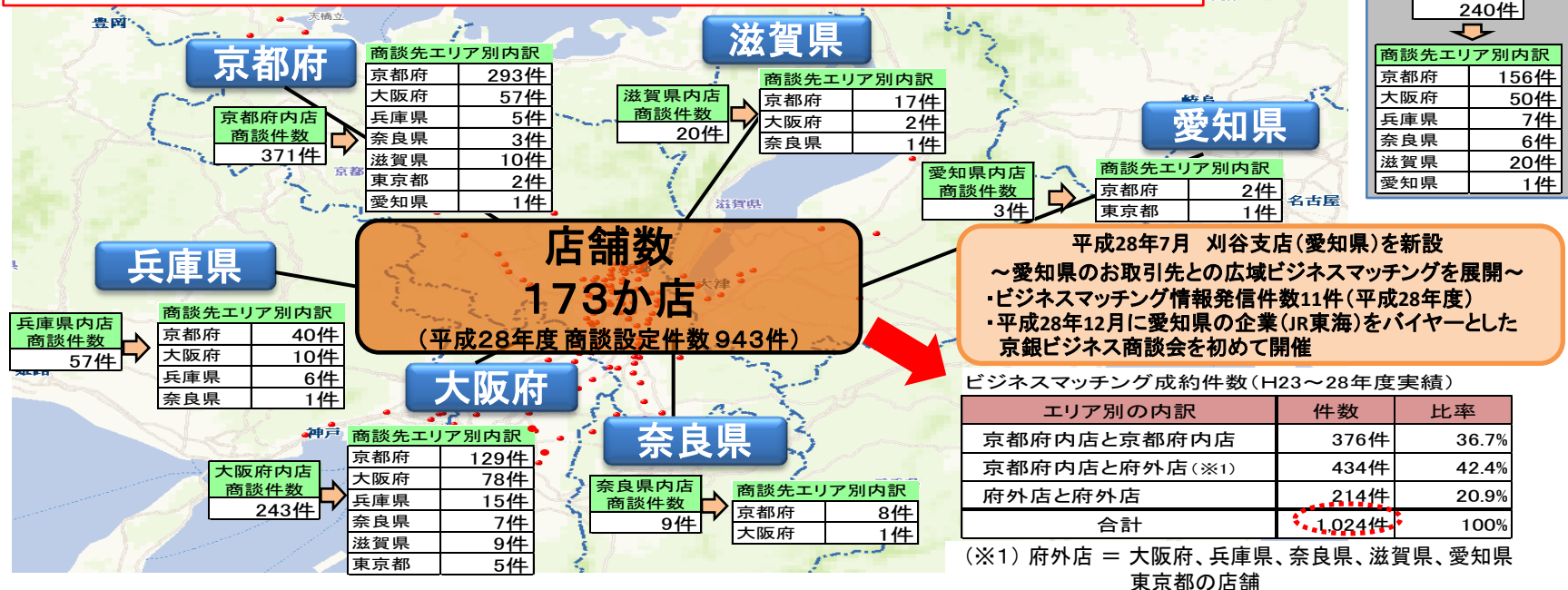
選択ベンチマーク【18】

販路開拓支援

943件

個別のビジネスマッチング商談設定件数は、全店で943件(平成28年度実績)※

※展示型商談会や当行グループ会社等との商談件数を除く



取組み事例～京都府内の抹茶製造業者を兵庫県の洋菓子製造業者等に紹介～

【お取引先】 京都府内で茶の製造卸売業を経営されているA社。

【取組経緯】 A社では、近年の加工用抹茶の需要増加に対応すべく、殺菌処理を施せる加工用抹茶専用の新工場を新設。新工場の稼働率向上の為、新たな販売先を求めているA社のニーズをキャッチした取引店担当者は下記取組みを実施。

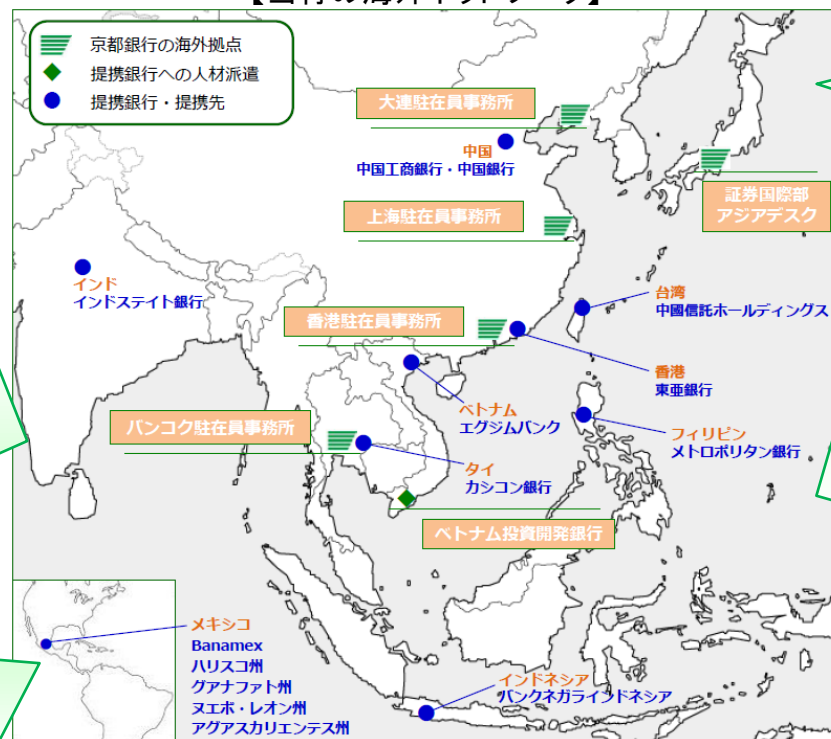
【取組内容】 兵庫県内のA支店やB支店と連携して、抹茶仕入ニーズが見込める取引先と各々商談の場を設定。

【結 果】 A支店の洋菓子製造販売業C社との商談の結果、当社の抹茶を使用したスポンジケーキに黒豆を使用したコラボ商品の販売が決定。また、B支店の食料品製造業D社との商談の結果、材料の一部として当社の抹茶の使用が決定。今後、徐々に取引量を増やし、コンビニ向け商品の企画等も検討されていく予定となっております。

(3). 成長支援(海外事業展開支援等)

当行では、幅広い海外ネットワークを活用して、海外進出支援や現地でのビジネスマッチング、貿易取引や海外現地法人の資金調達支援に積極的に取り組んでおります。

【当行の海外ネットワーク】



地銀合同セミナー・交流会 @ 広州2016 を開催

平成28年12月、当行をはじめ香港に拠点を有する地方銀行9行の共同主催で開催し、当行取引先16社ご参加いただき、情報収集と企業間での交流を図っていただきました。



メキシコ合衆国の州政府・ 大手金融機関と提携

平成28年9月に、メキシコ合衆国のグアナフアト州、ヌエボ・レオン州およびメキシコ大手金融機関「Banamex」と業務提携を行いました。これにより、広範なメキシコの経済・投資環境情報の提供や現地金融サービスの提供等が可能となりました。

平成28年度
2,489件の海外事業サポートを実施

サポート事例 ～インバウンド需要のマーケティング調査をサポート！～

京都市内で舞妓や着物の写真撮影やレンタルを行うA社より中国でのマーケティング調査の相談があり、現地でのアテンドを実施。

インバウンド需要を取り込むための秘策から、現地でしか得られない最新情報等を収集され、今後の戦略に役立てていただきました。

<アテンドスケジュール>

- 1日目 福利厚生サービス会社、旅行会社①
- 2日目 IT会社、メディア、マーケティング会社、旅行会社②
- 3日目 旅行会社③、旅行博覧会視察



平成28年度 海外現地法人向け融資実績

クロスボーダーローン 計18件実行			スタンドバイ/L/C 計12件実行		
中国向け	米ドル建て	3件	中国向け	人民元建て	7件
中国向け	円建て	1件	中国向け	米ドル建て	2件
タイ向け	バーツ建て	8件	中国向け	円建て	1件
香港向け	米ドル建て	2件	台湾向け	米ドル建て	1件
メキシコ向け	円建て	1件	タイ向け	バーツ建て	1件
アメリカ向け	米ドル建て	1件			
マレーシア向け	米ドル建て	1件			
ベトナム向け	米ドル建て	1件			

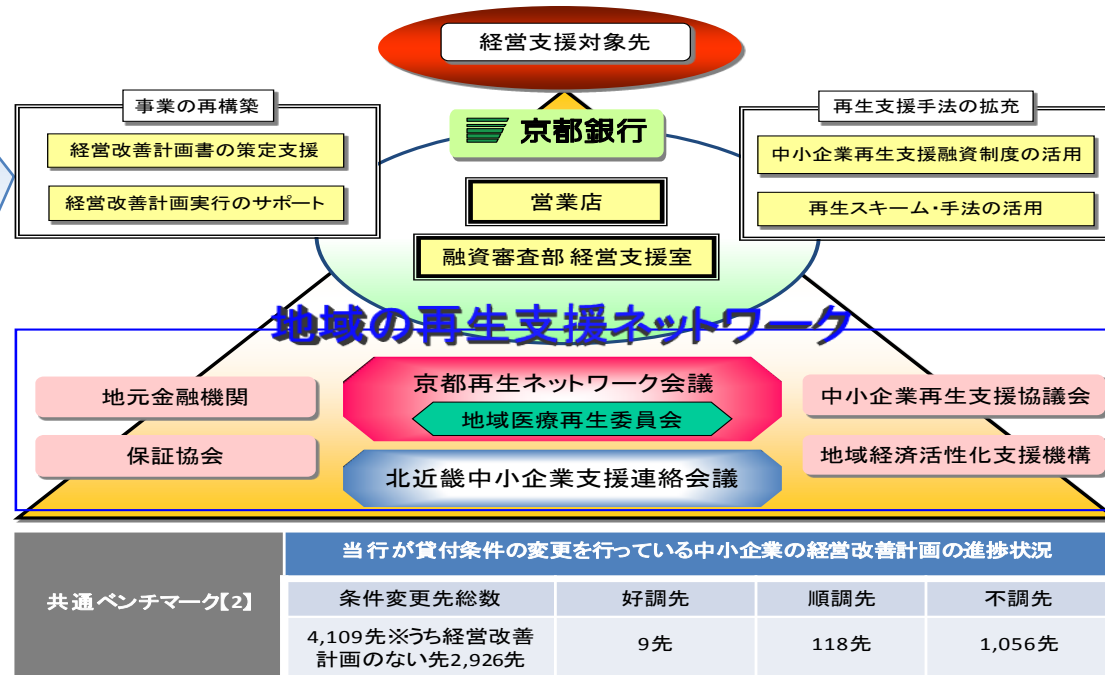
(4). 経営改善・事業再生支援

共通
ベンチマーク【2】

経営改善・事業再生支援を優先的に行うべきお取引先を支援対象先に選定し、これら支援対象先および全ての条件変更先に
対して経営改善・事業再生支援の取組みを進めております。また、従来より中小企業再生支援協議会や信用保証協会、地元金
融機関等で構成する「京都再生ネットワーク会議」を中心に「オール京都」の枠組みによる再生支援に取り組んでおります。

個別経営相談会		
開催時期	平成28年4月～平成29年3月 (計17回開催)	
内容	コンサルティング会社を活用し、経営力 強化を目的とした個社別の相談会。	
参加者数	合計31社	

経営計画策定セミナー		
	「基本編」	「実践編」
開催時期	平成28年5月・7月・ 12月、平成29年2月 (計4回開催)	平成28年6月・8月 平成29年1月・3月 (計4回開催)
内容	経営改善計画の意義の 理解や策定に向けた経 営者の意識改革を目的 としたセミナー。	具体的な経営改善計画 の策定を目的としたセミ ナー。
参加者数	合計15社	合計10社



取組み事例～新たにメインバンクとなり経営改善支援を主導した事例～

【お取引先】 製造業A社

【取組経緯】 当社は、過去に策定した計画に基づいて経営改善に取り組んでいましたが、業績は計画対比で下振れの状態が続いていました。しかしメインバンクから経営改善支援の動きがなかったことから、当行より計画の再策定と金融支援体制の再構築を提案しました。

【取組内容】 当行がメインバンクとなることを前提に、下記取組みを実施いたしました。

①経営課題の抽出: 工場見学や業界分析を実施し、「市場の成熟化」や「国内製造コストの高止まり」、「過大な借入金」等の経営課題を把握。

②経営改善計画の策定支援: OEM受注の取込み、価格戦略の見直し、海外への製造移管、工場集約による借入金圧縮を加味した実現可能性の高い経営改善計画の策定を支援。

③金融スキームの構築: 計画のキャッシュフローを前提に、既存与信構成の見直しや将来的な債務圧縮も見越した再生型シジケートローンを組成。

(5). 事業承継・M&A支援

選択
ベンチマーク【21】

選択
ベンチマーク【19】

後継者問題を抱えるお取引先に対するサポートとして、自社株評価や事業承継に関する初期的なアドバイス、税理士等の専門家と連携した最適な事業承継スキーム、課題解決策の検討を行っております。また、後継者不足、業界の再編等により事業存続の悩みをお持ちのお取引先に対して、M&Aによる出口戦略のサポートも行っております。

ア. 当行の事業承継サポート

平成28年度 事業承継支援先数 **247先**

- 自社株の概算評価
- 株価対策
- 相続対策コンサルティング
- 資本政策に関するアドバイス
- 必要資金のファイナンス
- M&Aのご支援 等々

選択ベンチマーク【21】

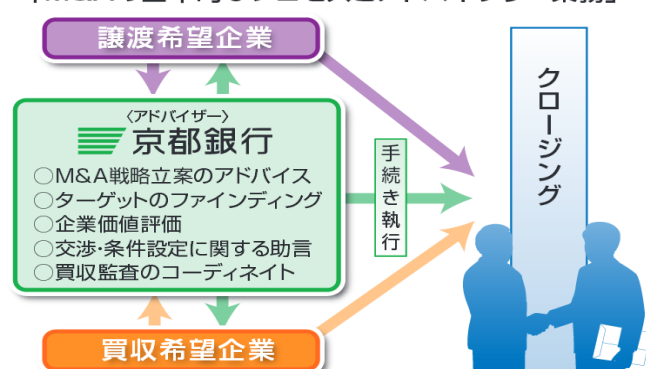
事業承継支援先数

247先

イ. 当行のM&Aサポート

平成28年度 M&A支援先数 **17先**

「M&Aの基本的なプロセスとアドバイザリー業務」

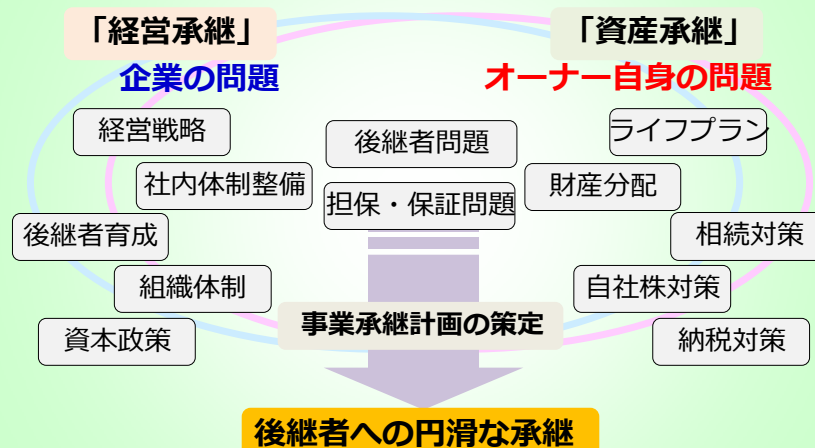


選択ベンチマーク【19】

M&A支援先数

17先

複雑な「事業承継」問題



サポート事例

～取引先一社依存体質のビジネスモデルからの脱却を目指すM&Aを支援！！～

京都府下で包装資材の製造販売を営むA社より販路開拓、事業多角化のニーズをキャッチし、具体的なM&A案件のご提案を実施。

リーマン・ショック時には売上が半減するなど、取引先一社依存の影響に危機感を有しておられたA社に対して、最適な情報のご提供と適切なサポートを行い、無事案件成約。

その他、経営効率向上や従業員の雇用確保等の経営課題の解決にも繋がったと評価いただきました。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

(1). 観光産業に資する当行独自の取組みの展開

ア.「多言語音声翻訳システム」の店頭設置

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)の協力を得て、平成28年7月21日より金融機関で初めて、多言語音声翻訳アプリ「VoiceTra」と聴覚障がい者とのコミュニケーション支援アプリ「SpeechCanvas」を搭載したiPadを京都市内17か店に設置。外国人観光客誘致による地域活性化を推進するとともに聴覚に障がいのあるお客様との多様なコミュニケーション手段を備えたこと、また総務省の平成28年度「多言語音声翻訳システムの利活用実証」に参加し、情報通信技術の発展に貢献したことが評価され、平成29年度『情報通信月間』近畿総合通信局長表彰を受賞しました。



イ.京都観光写真展、「京の七夕」ロビー展の開催

平成28年度も103か店のロビーにて「京都観光写真展」を開催し、「京丹後『絶景の旅』」、「『森の京都』を巡る」など6つのテーマで写真展示を行ったほか、平成28年8月に、「オール京都」で開催された「京の七夕」への協賛事業として、京都モデルフォレスト協会の協力のもと、当行行員が放置竹林で伐採した笹を使用したロビー展「京の七夕」を京都市内43か店において開催いたしました。



ウ.観光関連融資の取組み



観光活性化を資金面から支援するため、観光産業に携わる事業者様向け専用ローン「京銀観光支援特別融資＜賑わい＞」の取扱いに加え、「京都市地域活性化総合特区に係る利子補給金制度」の取扱いを行っております。

「京都市地域活性化総合特区に係る総合特区支援利子補給金制度」の概要

- 【対象】 京都市内における旅館・ホテル、料亭、観光土産品小売店、寺社仏閣等の新設、改修・増改築、設備の整備等
- 【利子補給率】 最大0.7% 【支給期間】 5年間

平成28年度 活用事例

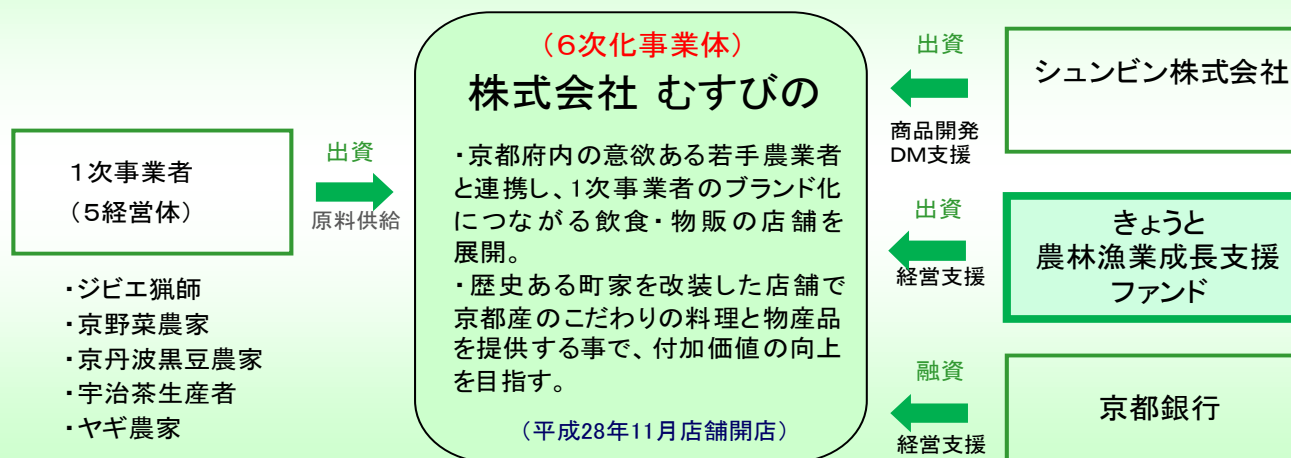
- ・京町家を活用したホテルの新設資金
- ・インバウンド需要に対応した和風旅館の新設資金
- ・レンタル着物店の改装資金

(2). 地域の成長産業に対する支援強化

選択
ベンチマーク【20】

取組み事例～「きょうと農林漁業成長支援ファンド」による6次産業化支援の取組み～

京都府内の農林漁業者と商工業者が連携して取組む6次産業化事業の構築サポートを行い、その結果、新たに設立された「株式会社むすびの」に対して、「きょうと農林漁業成長支援ファンド」からの出資ならびに、当行からの融資を行いました。



選択ベンチマーク【20】

ファンド活用件数

7件※「京銀輝く未来応援ファンド」投資先5件含む

(3). 地域の経営支援ネットワークの拡充

北近畿エリアの金融機関が経営支援に対する考え方や認識を共有し、地域における中小企業支援に向けた取組みのスピードアップを図ることを目的に、「北近畿中小企業支援連絡会議」を平成27年3月に創設し、毎月開催される「実務者会議」を通じて地域の事業者様に対する取組みを進めております。平成28年5月および6月には連絡会議の主催で、宮津・豊岡の2会場で地元事業者を対象として「～地方創生の実現に向けて～観光活性化セミナー」を開催いたしました(計194名参加)。

メンバー	京都銀行、京都北都信用金庫、但馬銀行、但馬信用金庫、中兵庫信用金庫、日本政策金融公庫、福邦銀行
オブザーバー	京都府、兵庫県、近畿財務局、近畿経済産業局、京都信用保証協会、兵庫県信用保証協会、中小企業再生支援全国本部、京都府中小企業再生支援協議会、兵庫県中小企業再生支援協議会、地域経済活性化支援機構

＜観光活性化セミナー(宮津開催)のプログラム＞

- ◆第一部 観光を取り巻く現状とWILLERの次なる戦略について
講師: WILLER ツーリズム&コンサルティング(株)
- ◆第二部 観光活性化マザーファンドの取組み事例にみる観光活性化の切り口について
講師: (株)リサ・パートナーズ

(4). 地域全体の活性化につながる行政施策等との連携

ア. 地域創生「お茶の京都」インバウンド対策セミナーを開催

平成28年6月、お茶生産の美しい景観維持やお茶産業の振興、お茶文化の発信などにより京都府南部地域の活性化を目指す「お茶の京都」をテーマにしたセミナーを京都府と共催いたしました。

当日は、観光関連事業者等23名がご参加され、今後の活動の参考としていただきました。

<セミナープログラム>

- ◆第一部 「お茶の京都」の取組について
講師：京都府山城広域振興局
- ◆第二部 飲食店におけるインバウンド対策の今
講師：(株)ぐるなび
- ◆第三部 「お茶の京都」エリアでのキャッシュレスインフラ整備について
講師：三菱UFJニコス(株)



イ. 地方創生の取組み

・地方公共団体、学校法人との連携協定の締結

協定締結月	締結先	協定名
平成28年6月	城陽市	地方創生に関する包括連携協定
平成28年7月	京都府公立大学法人 京都府立医科大学 京都府立大学	地域にもっとも近い「学」×「金」の 地域創生に向けた協定
平成28年9月	滋賀大学	地方創生に関する包括的連携協定
平成28年9月	宇治市	地方創生に関する包括連携協定
平成28年10月	京田辺市	地方創生に関する包括連携協定
平成28年10月	交野市	交野市と株式会社京都銀行との包括連携に 関する協定
平成28年11月	久御山町	地方創生に関する包括連携協定
平成28年12月	舞鶴市	株式会社京都銀行と舞鶴市との地方創生に 関する包括連携協定
平成28年12月	京都女子大学	連携協力協定
平成29年3月	与謝野町	与謝野ブランド戦略パートナーシップ協定

・地方創生の取組みに役立つセミナーの開催

開催時期	セミナー名	内容
平成28年8月	地方創生セミナー2016	地方公共団体担当者を対象に、PPP／PFIに関する最新動向や具体的事例、地方創生における地方公共団体と地域金融機関との連携等、今後の取組みに役立つ情報を提供。
平成28年9月	城陽市×京都銀行 包括連携協定締結 記念セミナー	「観光と地域資源の再発見で進める地方創生」をテーマに、特産品の「6次産業化」や観光資源の活用、地域特産品の「ブランディング」や販路拡大について、具体的事例を交えて説明。

3.取組み態勢の整備

(1). 専門的な金融手法や知識等のノウハウを持つ人材の育成、ノウハウ・情報の共有

選択
ベンチマーク【39】

金融大学校において各種講座、演習の実施を通じ、知識・ノウハウを持つ人材の育成に取り組んでおります。
また、当行独自の取組みとして、業種・業界知識の習得のみならず、法人営業に活用できる旬の話題や情報も対象とした「法人営業スキルアップセミナー」を毎月開催しているほか、M&Aや事業承継等の専門家養成プログラムも実施しております。

選択ベンチマーク【39】	取引先の本業支援に関連する研修等の実施数 研修等への参加者数 資格取得者数	研究実施回数	参加者数	資格取得者数
		104回	2,576人	29人

(2). 全行的な取組みの強化、業績評価への反映

独自
ベンチマーク【1】

～「地方創生・事業性評価 頭取賞」の創設～

これまで当行では、地域密着型金融の取組みの浸透を図るため、コンサルティング機能の発揮状況を業績評価項目に設定し、お取引先が抱えておられる経営課題やニーズに対して、解決のきっかけとなる情報提供や支援機関等のご紹介、具体的な解決策のご提案を行ってまいりました。

この様な活動を更に強化し、地域経済の活性化や地方創生の実現に繋げていくため、平成28年度上期からは、「地方創生・事業性評価 頭取賞」を創設し、創業支援や再生支援など、お取引先のライフステージに応じた優れたソリューション事例を表彰しております。

独自ベンチマーク【1】	地方創生・事業性評価 頭取賞 報告件数・受賞件数	報告件数	受賞件数
		693件	25件

【平成28年度「地方創生・事業性評価 頭取賞」の実績】

営業店から報告のあった693件のうち、25案件を表彰

創業支援2件、販路開拓支援1件、新工場進出支援2件、生産性改善1件
海外展開支援3件、再生支援5件、事業承継支援3件、地方創生1件
M&A支援2件、ビジネスマッチング1件、その他4件

Ⅲ. 平成28年度の主な取組み

(3). 積極的な情報発信

【① ライフステージに応じたセミナー等開催実績】

ライフ ステージ	開催時期	イベント名	参加者 (社)数
創業・ 新事業 支援	平成28年4月	創業を考える in 京都市	38 名
	平成28年5月	第4期 スタートアップ・サポートセミナー	4 名
	平成28年7月	～京都大学と連携しませんか～ものづくり企業のための新規事業展開セミナー	73 名
	平成28年10月	第5期 スタートアップ・サポートセミナー	16 名
	平成28年10月	ものづくり補助金対策支援セミナー	29 名
	平成28年12月	京銀・KISビジネスフォーラム	129 名
	平成29年2月	～京都大学と産学連携事例から学ぶ～中小企業のための新規事業展開セミナー	50 名
	平成29年3月	第6期 スタートアップ・サポートセミナー	11 名
成長支援 (国内)	平成28年7月	経営者として「いつでも備えは万全」にするための消費税セミナー	5 名
	平成28年7月	京セラ アメーバ経営セミナー	93 名
	平成28年7月	地方創生 商談力向上セミナー2016	11 名
	平成28年9月	地方創生 商談力スキルアップセミナー	20 名
	平成28年10月	食関連商品のブランド力向上セミナー	14 名
	平成28年11月	京町屋利活用クラウドファンディングセミナー	22 名
	平成28年11月	適正取引推進講習会	14 名
	平成28年12月	KYOTOジョブフェア	5 社
	平成29年1月	適正取引推進講習会	20 名
	平成29年2月	製造業のための技術課題個別相談会	6 社
	平成29年2月	IPOセミナー-in京都2017	62 名
	平成29年3月	インバウンド受入サービス向上セミナー	35 名

ライフ ステージ	開催時期	イベント名	参加者 (社)数
成長支援 (海外)	平成28年6月	2016大連・地方銀行合同企業交流会	15 社
	平成28年6月	第8回香港・華南地区日系企業ビジネス交流会	23 社
	平成28年7月 (計3回開催)	中国主要都市ビジネスセミナー (青島・大連・上海で開催)	計 41 名
	平成28年7月	アジアデスクセミナー「インバウンドビジネス編」	46 名
	平成28年9月	ベトナムビジネスセミナー & 交流会	24 社
	平成28年10月	アジアデスクセミナー「中国ビジネス編」	48 名
	平成28年11月	上海ビジネス交流会 実務セミナー2016	25 名
	平成28年12月	地銀合同セミナー & 交流会 @ 広州	16 社
	平成29年1月	アジアデスクセミナー(中国向け越境ECサイト編)	51 名
	平成29年2月	アジアデスクセミナー(食品輸出のための商談スキルセミナー)	31 名
	平成29年2月	上海ビジネス交流会2017	106 社
	平成29年2月	京都舞鶴港大連セミナー-in大連	250 名
	平成29年3月	第3回バンコクビジネス交流会	74 社
経営改善・ 事業再生 支援	平成28年4月 ～平成29年3月 (計17回開催)	個別経営相談会	計 31 社
	平成28年5月 ～平成29年3月 (計8回開催)	経営計画策定セミナー 「基本編」、「実践編」	計 25 社
事業承継・ M&A支援	平成29年2月	企業経営者のための相続対策セミナー	53 名
	平成29年3月	中小企業者のためのM&Aセミナー	42 名

【② 国内・海外での商談会開催実績】

分野	開催時期	イベント名	参加社数
国内	平成28年8月	第18回京銀ビジネス商談会	6社
	平成28年9月	南の逸品商談会 in Tokyo 2016	6社
	平成28年10月	関西の逸品！首都圏バイヤー商談会in 東京 2016	47社
	平成28年11月	地方銀行フードセレクション2016	27社
	平成28年12月	第19回京銀ビジネス商談会	28社
	平成29年3月	国内商社との食品輸出商談会in 京都	28社
海外	平成28年6月	Mfairハンコク2016ものづくり商談会	13社
	平成28年9月	FBC上海2016ものづくり商談会	41社
	平成28年11月	2016大連・地方銀行合同ビジネス商談会	13社
	平成29年2月	FBCハノイ2017ものづくり商談会	11社

【③ 地方創生に資するイベント開催実績】

開催時期	イベント名	参加者数
平成28年5月・6月 (計2回開催)	～地方創生の実現に向けて～観光活性化セミナー	計 194 名
平成28年6月	地域創生「お茶の京都」インバウンド対策セミナー	23 名
平成28年8月	地方創生セミナー2016	48 名
平成28年9月	城陽市×京都銀行 包括連携協定締結記念セミナー	約 100 名